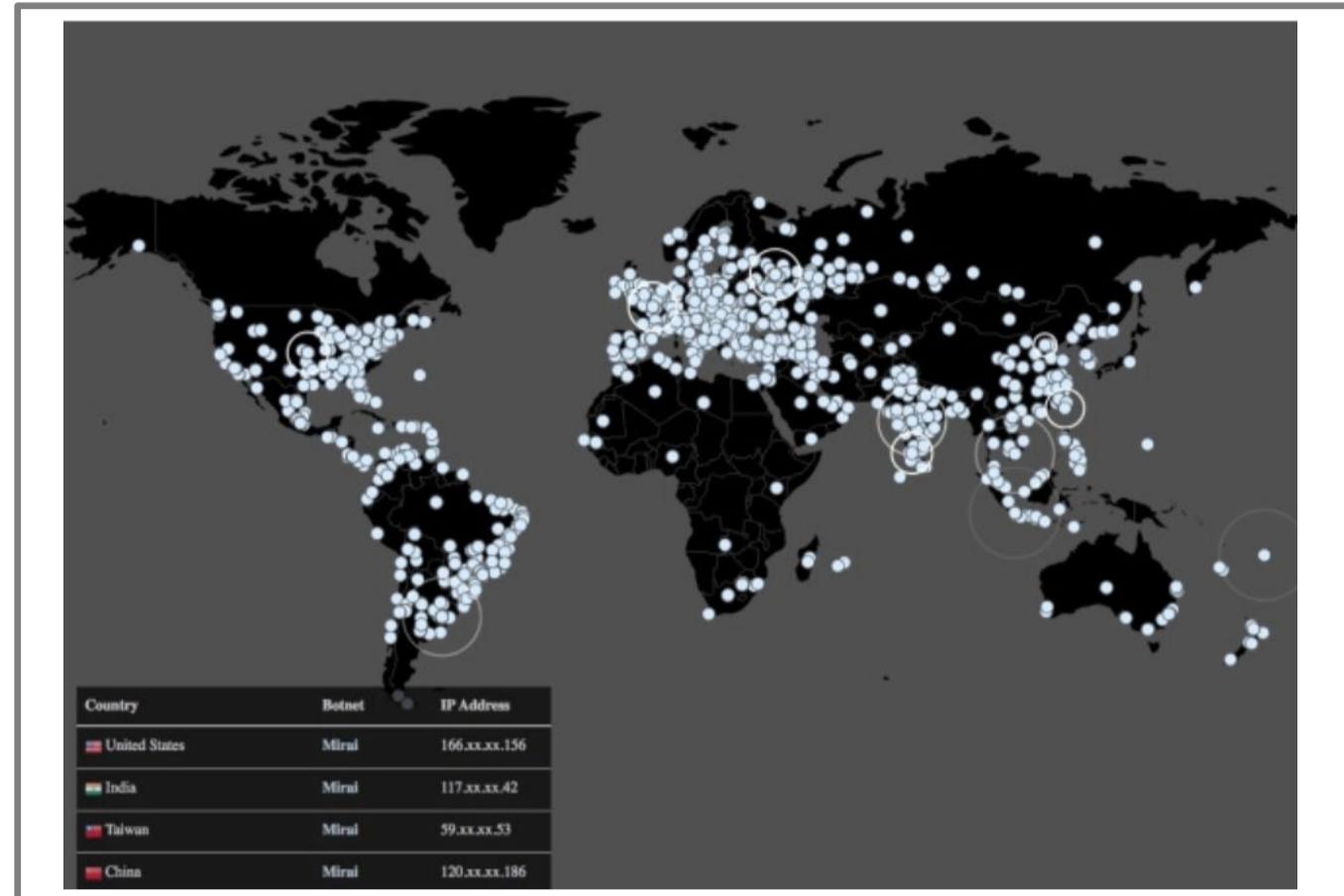


## 1 IoT機器を取り巻くセキュリティの背景

### ■ IoT機器におけるセキュリティ対策が企業にとって重要な命題に！

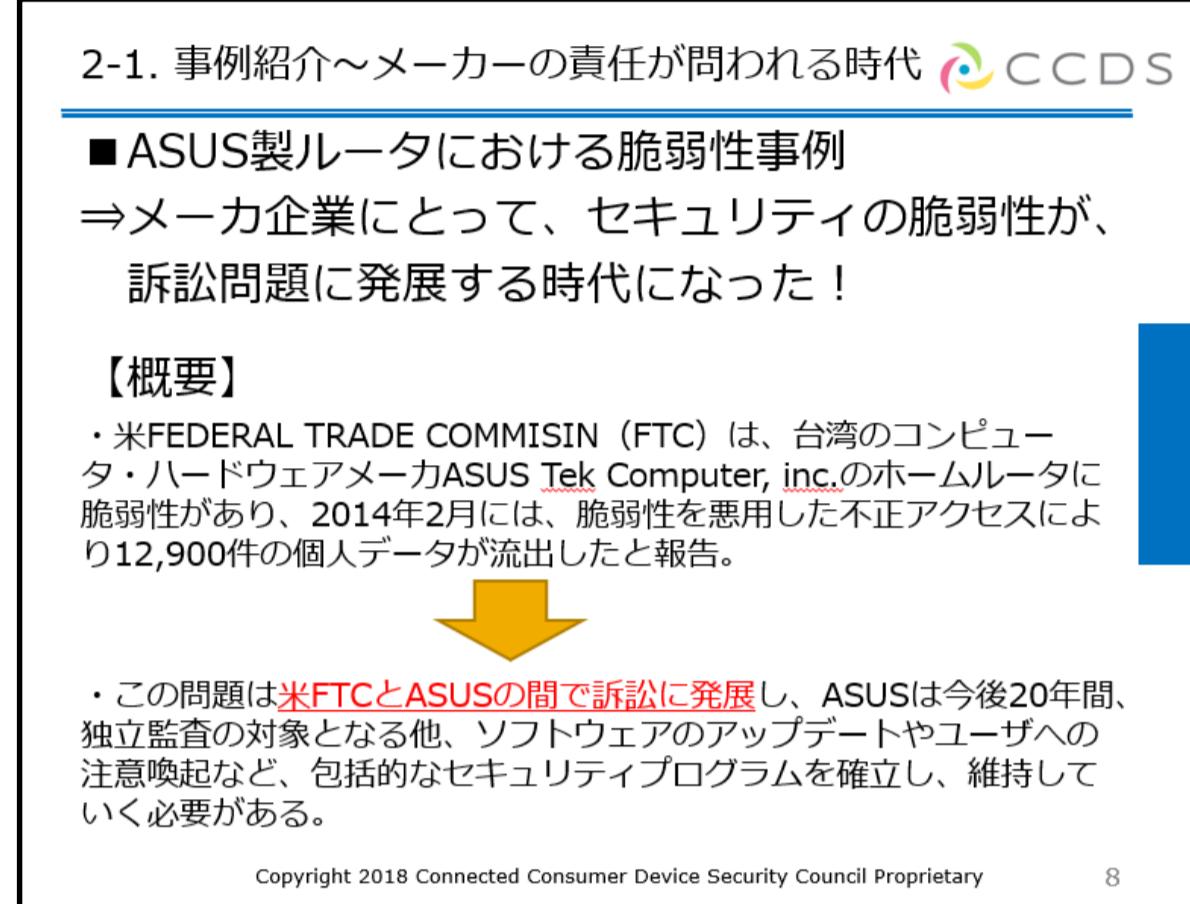
- ・Mirai、ランサムウェア（Wanna Cry）による攻撃が、グローバルな脅威となる
- ・アメリカにおいて、IoT製品におけるセキュリティ上の脆弱性が訴訟に発展

【マルウェア「Mirai」による攻撃の分布】



出典：<https://cybersecurity-index.com>

【アメリカにおけるWi-Fiルータの訴訟事例】



出典：CCDS講義資料より

### ■各省庁の動き

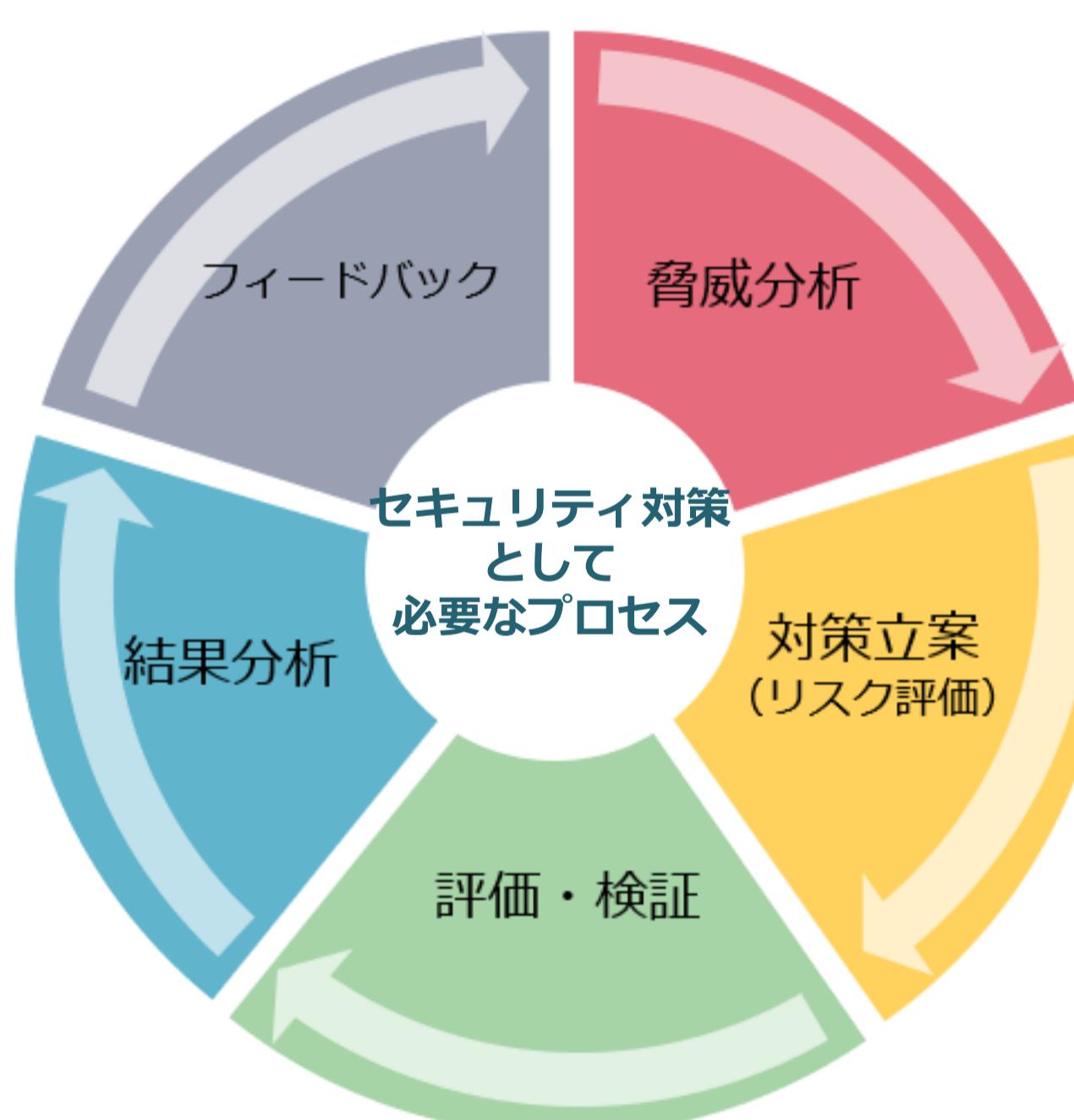
総務省・経産省は、  
IoT推進コンソーシアムによる  
活動を通じて、IoT機器のセ  
キュリティに関する認証制度  
や法整備を視野入れた検討を  
開始。

**IoT機器開発を行う企業にとって、  
セキュリティ対策は不可避の状況**

## 2 プログラムの構成

### ■プログラムの特徴

- ・IoT機器のセキュリティ対策を、脅威分析から結果分析までオールインワンで実施可能
- ・基礎>実践>応用コースと、段階的にレベルアップしていくプログラム構成
- ・検証ツールや実機を使用し、実習と講義がワンセットとなった演習スタイル



### 1日目 基礎コース：90分×5講座

- ・IoT機器を取り巻く脅威
- ・情報セキュリティ基礎講座(1)～(3)
- ・検証環境の構築実習

### 2日目 実践コース：90分×5講座

- ・セキュリティ検証ツールのオペレーション実習
- ・脅威分析～対策立案～リスク評価
- ・セキュリティ課題レポートの作成実習

### 3日目 応用コース：90分×5講座

- ・IoT機器へのアタック実習
- ・スマートホームへのアタック実習

## 3 CCDS指定検査資格の取得について

### ■本プログラムの終了により取得可能な資格

- ・本セキュリティ人材育成プログラムは、CCDSの認定を受けたセキュリティ人材プログラムであり、CCDSサーティフィケーションマークの取得申請に必要な検証手順・手法の知見や技術を習得できる内容となっています。
- ・IoT機器開発/販売企業がマーク取得のための検査を行う場合や、マーク取得のためのセキュリティ検査を受託する場合には、指定検査資格者としてCCDSの認定を受ける必要があります。本プログラムの修了により、CCDSに認定された指定検査資格者の資格を得ることが可能です。  
→全教科で効果測定70点以上取得することで、受講修了者として登録されます。

## 4 プログラムのコース内容

### ■オールインワンコース：3日間集中講座

- ・対象者：現場のエンジニア（IoT機器の開発者、品質保証担当者、SE、テストエンジニア等）
- ・受講人数：1回10名
- ・開催時期：2019年10月11日、18日、25日開催

	演習No.	講習テーマ	形式	時間
【基礎コース】	F 1	IoT機器をとりまくセキュリティ上の脅威（概況）	講義	90分
	F 2	情報セキュリティ基礎講座（1）～ネットワークセキュリティ編	講義・実習	90分
	F 3	情報セキュリティ基礎講座（2）～サーバセキュリティ編	講義・実習	90分
	F 4	情報セキュリティ基礎講座（3）～Webアプリケーション編	講義・実習	90分
	F 5	CCDSサーティフィケーションマーク共通要件の説明	実習	90分
【実践コース】	F 6	OSSツールによるセキュリティの検証手法とは ～4つの検証ツールを事例に、使用手順や解析手法を学ぶ	講義・実習	90分
	F 7	OSSツールによるセキュリティ検証のオペレーション実習 ～4ツールを使用した検証の実習	講義・実習	90分
	F 8	システム構成図を用いた脅威分析の実践 ～守るべき資産や想定される脅威の分析～	講義・実習	90分
	F 9	セキュリティ対策フレームワークの活用、リスク評価の実践 ～フレームワークを用いたセキュリティ対策の立案～ ～CVSSv3を使用したリスク評価の実践～	講義・実習	90分
	F 10	セキュリティ課題レポートによる課題報告の実践 ～セキュリティ課題の報告レポート作成実習～	講義・実習	90分
【応用コース】	F 11	アタック実習Part. 1～IoT機器単体（1）	実習	90分
	F 12	アタック実習Part. 1～IoT機器単体（2）	講義・実習	90分
	F 13	アタック実習Part.2～スマートホームシステム（1）	実習	90分
	F 14	アタック実習Part.2～スマートホームシステム（2）	実習	90分
	F 15	アタック実習Part.2～スマートホームシステム（3）	講義・実習	90分

## 5 お問い合わせ先

### ■株式会社マストトップ

担当： 田久保 順<[takubo@mast-top.com](mailto:takubo@mast-top.com)>  
松本 潤<[j-matsumoto@mast-top.com](mailto:j-matsumoto@mast-top.com)>